

1.2 長良川河口堰調査検討会の実施状況

調査検討会は平成5年度から平成18年度までに合計13回実施しています。調査検討会の実施状況は以下のとおりです。

第1～3回 長良川河口堰調査検討会の開催記録

第1回

日 時：平成5年10月5日(火) 午前10:00～午後3:00

場 所：岐阜グランドホテル 本館 孔雀の間

出席者

議長団 館 正知(元岐阜大学学長)
小瀬 洋喜(大垣女子短期大学学長、岐阜薬科大学名誉教授)
河村 三郎(岐阜大学名誉教授)
委 員 中村 中六(広島大学名誉教授)
和田 吉弘(岐阜大学教授)
佐藤 正孝(名古屋女子大学教授)
岩佐 茂(岐阜市自治会連絡協議会長)
森 正夫(高須輪中水防事務組合水防団長)
澤村 章(岐阜県漁業協同組合連合会長)
松永 清蔵(高須輪中土地改良区理事長)
伊藤 公平(岐阜長良川温泉旅館協同組合代表理事)
杉山 秀夫(鵜匠代表)
安田 梅吉(岐阜商工会議所副頭取)
川上 洋一(日本労働組合総連合会岐阜県連合会長)
古川 利雄(岐阜県議会議長)
松永 清蔵(岐阜県議会水資源対策特別委員会委員長)
浅野 勇(岐阜県市長会長)
新井 正義(岐阜県町村会長)
小田 清一(岐阜県衛生環境部長)
内藤 正行(岐阜県農政部長)
竹中 寿一(岐阜県林政部長)
葛城 幸一郎(岐阜県土木部長)

以上22名(敬称略、職業・役職は当時)

第2回

日 時：平成6年8月22日(月) 午前10:00～午後3:00

場 所：サンピア岐阜 2階 伊吹の間

出席者

議長団 館 正知（元岐阜大学学長）
 小瀬 洋喜（大垣女子短期大学学長、岐阜薬科大学名誉教授）
 河村 三郎（岐阜大学名誉教授）
 委員 中村 中六（広島大学名誉教授）
 和田 吉弘（岐阜大学教授）
 佐藤 正孝（名古屋女子大学教授）
 岩佐 茂（岐阜市自治会連絡協議会長）
 森 正夫（高須輪中水防事務組合水防団長）
 楠 紀章（岐阜県漁業協同組合連合会長）
 安藤 幸道（岐阜釣具商組合長）
 松永 清蔵（高須輪中土地改良区理事長）
 伊藤 公平（岐阜長良川温泉旅館協同組合代表理事）
 杉山 秀夫（鵜匠代表）
 尾関 尚司（岐阜商工会議所副頭取）
 川上 洋一（日本労働組合総連合会岐阜県連合会長）
 新藤 秀逸（岐阜県議会議長）
 松永 清蔵（岐阜県議会水資源対策特別委員会委員長）
 浅野 勇（岐阜県市長会長）【 藤田 幸也（岐阜市助役）】
 新井 正義（岐阜県町村会長）【 阿部 勘三（町村会副会長）】
 小田 清一（岐阜県衛生環境部長）
 国井 隆（岐阜県農政部長）
 日比 治男（岐阜県林政部長）
 葛城 幸一郎（岐阜県土木部長）

以上 23 名（敬称略、職業・役職は当時、 は代理出席）

第 3 回

日 時：平成 7 年 1 月 9 日(月) 午前 10：00～午後 3：30

場 所：県民ふれあい会館 3 階 大会議室

出席者

議長団 館 正知（元岐阜大学学長）
 小瀬 洋喜（大垣女子短期大学学長、岐阜薬科大学名誉教授）
 河村 三郎（岐阜大学名誉教授）
 委員 和田 吉弘（岐阜大学教授）
 佐藤 正孝（名古屋女子大学教授）
 岩佐 茂（岐阜市自治会連絡協議会長）
 森 正夫（高須輪中水防事務組合水防団長）
 松永 清蔵（高須輪中土地改良区理事長）
 伊藤 公平（岐阜長良川温泉旅館協同組合代表理事）
 杉山 秀夫（鵜匠代表）

川上 洋一（日本労働組合総連合会岐阜県連合会長）
新藤 秀逸（岐阜県議会議長）
松永 清蔵（岐阜県議会水資源対策特別委員会委員長）
浅野 勇（岐阜県市長会長）【 原田 邦彦（岐阜市技術助役）】
新井 正義（岐阜県町村会長）
小田 清一（岐阜県衛生環境部長）
国井 隆（岐阜県農政部長）
日比 治男（岐阜県林政部長）
葛城 幸一郎（岐阜県土木部長）

以上 19 名（敬称略、職業・役職は当時、 は代理出席）

第 1 ～ 3 回

要 旨

- ・水質保全対策として、DO対策船が配備され、アンダーフローによるゲート操作が実施されます。（P3-8、P3-14参照）
- ・水質監視体制として、水質自動監視装置が設置されています。（P3-13参照）
- ・水質環境基準の達成や水質の状況を把握するため、長良川本川や支川で定点観測が行われています。（P3-15～16参照）
- ・支川の水質浄化として、下水道整備が進められています。今後も促進するよう要望しました。（P3-18参照）
- ・昨年度の遡上調査において、魚道の機能の効果は確認されました。渇水時における魚道の流量を確保することや、効果的なゲートの放水管理が必要であることを要望しました。（P3-24～25、P3-44～45参照）
- ・生息環境の保全と復元対策として、ヨシ原の復元等が実施されています。（P3-30～31参照）
- ・平成9年度の台風期までにしゅんせつは概ね完了する予定ですが、早期の完成と、更なる治水安全度の向上を目指すよう要望しました。（P3-32～33参照）
- ・しゅんせつ後は、定期的に測量が実施され、万一、洪水に支障のある堆積があれば除去されます。（P3-36参照）
- ・長良川河口堰関連緊急治水事業の実施について要望しました。（P3-37～38参照）
- ・築堤・護岸・ブランケットなどはほぼ完成しています。（P3-39～40参照）
- ・浸透水について、試験湛水中の調査では、ゲート操作以前の状況と比べ、異常は認められませんでした。今後も引き続き注意深く見守っていく必要があることを要望しました。（P3-39～41参照）
- ・農地の湿潤化を防止するため承水路や排水路が整備され、地元の住民も含めたパトロール班の現地調査によれば、支障は出ていません。今後も引き続き観察が必要であることを要望しました。（P3-39～41参照）
- ・ゲート操作方法について理解しました。（P3-42～49参照）
- ・しゅんせつ後は塩水が遡上し塩害が発生するため、河口堰は必要です。引き続き塩分の浸透についての観測が必要であることを要望しました。（P3-50～57参照）

- ・ 停電などの緊急時におけるゲート操作については、2重、3重の安全対策がなされています。(P3-58参照)
- ・ 仔アユは、淡水から海水に入っても支障はありません、降下時間の延長による影響が懸念されているため、調査を継続し、影響を軽減できるような対策の検討を要望しました。(P3-44～45、P3-63参照)
- ・ 人工河川は試験稼働の結果、その効果が非常に期待できると思われ、今後の本格稼働に向けての計画策定を要望しました。(P3-70参照)

堰運用開始前に実施した、第1～3回の調査検討会では、「防災面や環境面に講ぜられている対策の多くの事項について、理解し確認できました。しかし、取り組んでほしい要望事項や今後も推移を見守るべき事項もあるので、これら点については管理運用後も注意深く見守っていかなければならない。」との結論に達し、調査検討会は堰運用開始後も引き続き継続することとなりました。

第4回 長良川河口堰調査検討会の開催記録

日 時：平成8年2月19日(月) 午後1：00～午後4：00

場 所：県民ふれあい会館

出席者

議長団 館 正知(元岐阜大学学長)
 小瀬 洋喜(大垣女子短期大学学長、岐阜薬科大学名誉教授)
 河村 三郎(岐阜大学名誉教授)

委 員 和田 吉弘(中部女子短期大学副学長)
 森 正夫(高須輪中水防事務組合水防団長)
 松永 清蔵(高須輪中土地改良区理事長)
 桑原 千尋(岐阜長良川温泉旅館協同組合代表理事)
 杉山 秀夫(鷺匠代表)

松永 清蔵(岐阜県議会水資源対策特別委員会委員長)
 浅野 勇(岐阜県市長会長)【 大野 功(岐阜市土木部長)】
 清水 敏郎(岐阜県町村会長)
 小田 清一(岐阜県衛生環境部長)【 広瀬 忠則(衛生環境部次長)】
 国井 隆(岐阜県農政部長)
 日比 治男(岐阜県林政部長)【 宮地 省一(林政部次長)】
 齋藤 博(岐阜県土木部長)

以上15名(敬称略、職業・役職は当時、 は代理出席)

要 旨

- ・ 記録的な高温や少雨により、一時的に局所的な底層DOの低下や、岸边近くのヨシが自生している限られた水のよどみ部で、数日間アオコの発生などの現象が見られましたが、ゲートのフラッシュ操作に伴って水質改善の効果が見られました。今後もDO対策船の運用や効果的なゲート操作等により、水質悪化等に対処する必要があることを要望しました。(P3-8、P3-14参照)

- ・魚道は、十分にその機能を果たしており、効果が上がっています。今後もゲート操作等によりさらに効果が上がるように研究を行う必要があることを要望しました。(P3-24～25、P3-44～45参照)
- ・ヨシ原は保全と復元対策により、順調に生育し復元がなされています。今後も自然環境や、鳥類を含めた動物の調査を継続することが必要であることを要望しました。(P3-27～31参照)
- ・平成9年度の台風期までにしゅんせつは概ね完了する予定ですが、早期の完成を要望しました。(P3-32～33参照)
- ・長良川河口堰関連緊急治水事業の実施について要望しました。(P3-37～38参照)
- ・堰運用開始後も、堤防の安全性に問題があるような状況は認められていません。今後も浸透水については注意深く見守っていく必要があることを要望しました。(P3-39～41参照)
- ・農地の湿潤化を防止するため承水路や排水路が整備され、地元の住民も含めたパトロール班の現地調査によれば、支障は出ていません。今後も引き続き観察が必要であることを要望しました。(P3-39～41参照)
- ・農地の塩分については、堰運用開始後も観測されていますが、塩分の上昇は認められていません。今後も引き続き塩分の浸透についての観測が必要であることを要望しました。(P3-55～57参照)
- ・仔アユの降下については、平成6・7年とも河口堰の影響は確認されず、河口堰下流では元気な仔アユが確認されました。今後も調査を継続する必要があることを要望しました。(P3-63参照)

第5回 長良川河口堰調査検討会の開催記録

日 時：平成9年8月8日(金) 午後1：30～午後4：00

場 所：サンピア岐阜 金華の間

出席者

議長団	館 正知(元岐阜大学学長、岐阜大学名誉教授)
	小瀬 洋喜(大垣女子短期大学学長、岐阜薬科大学名誉教授)
	河村 三郎(岐阜大学名誉教授)
委員	和田 吉弘(中部女子短期大学副学長、岐阜大学名誉教授)
	森 正夫(高須輪中水防事務組合水防団長)
	楠 紀章(岐阜県漁業協同組合連合会長)
	松永 清蔵(高須輪中土地改良区理事長)
	桑原 千尋(岐阜長良川温泉旅館協同組合代表理事)
	尾関 尚司(岐阜商工会議所副頭取)【 棚瀬 乙彦(濃飛倉庫運輸(株)総務部長)】
	板屋 鎌一(日本労働組合総連合会岐阜県連合会長)
	松永 清蔵(岐阜県議会水資源対策特別委員会委員長)
	浅野 勇(岐阜県市長会長)【 渡辺 建蔵(岐阜市土木部長)】

川瀬 雅信（岐阜県環境局長）
森井 季雄（岐阜県農政部長）【 森川 茂樹（農政部次長）】
宮地 省一（岐阜県林政部長）【 清水 正巳（林政部次長）】
齋藤 博（岐阜県土木部長）【 春田 宗男（土木部土木技監）】

以上16名（敬称略、職業・役職は当時、 は代理出席）

要 旨

- ・水質について、自動水質監視装置及び水面パトロールにより、常時監視が実施されており、全般的に著しい変化は見られていません。今後も引き続き調査をして見守っていく必要があることを要望しました。（P3-5～13参照）
- ・ごく限られた局所的な場所で青い藍藻類の集積が確認されましたが、大量の集積ではなくアオコの発生とは認識されていません。今後も引き続き調査をして見守っていく必要があることを要望しました。（P3-6～7参照）
- ・河床全面にヘドロが最大厚1m程度堆積しているという指摘がありますが、指摘されているような事実は確認されていません。今後も引き続き調査をして見守っていく必要があることを要望しました。（P3-19～20参照）
- ・ヨシ原は保全と復元対策により、順調に生育し復元がなされています。今後も自然環境や、鳥類を含めた動物の調査を継続することが必要であることを要望しました。（P3-27～31参照）
- ・平成9年7月末にマウンドのしゅんせつが完了しました。マウンドしゅんせつ後の河床堆積状況について、今後も注意深く見守っていく必要があることを要望しました。（P3-36参照）
- ・堰運用開始後も、堤防からの浸透水などの安全性に問題があるような状況は認められていません。今後も注意深く見守っていく必要があることを要望しました。（P3-39～41参照）
- ・地元住民も含めたパトロール班の現地調査、地下水位調査によれば、承水路や排水路による浸透水対策は機能しています。今後も引き続き観察が必要であることを要望しました。（P3-39～41参照）
- ・塩水の遡上は認められず、河口堰の効果が確認されました。（P3-55参照）
- ・地下水の塩分濃度が一部高くなっているところについては、今後も注意深く継続監視されます。（P3-56～57参照）
- ・アユ、サツキマス等は順調に遡上しています。さらに遡上効果が上がるように、ゲート操作についての検討を行う必要があることを要望しました。（P3-44～45、P3-64～65、P3-67～68参照）

第6回 長良川河口堰調査検討会の開催記録

日 時：平成10年9月4日(金) 午後1：30～午後4：00

場 所：サンピア岐阜 金華の間

出席者

議長団 館 正知（元岐阜大学学長、岐阜大学名誉教授）
 小瀬 洋喜（大垣女子短期大学学長、岐阜薬科大学名誉教授）
 河村 三郎（岐阜大学名誉教授）
 委員 和田 吉弘（中部女子短期大学副学長、岐阜大学名誉教授）
 林 春雄（岐阜市自治会連絡協議会長）【 藤澤 明弘（日野自治会連合会長）】
 森 正夫（高須輪中水防事務組合水防団長）
 近藤 良男（高須輪中土地改良区理事長）
 桑原 千尋（岐阜長良川温泉旅館協同組合代表理事）
 尾関 尚司（岐阜商工会議所副頭取）
 板屋 鎌一（日本労働組合総連合会岐阜県連合会長）
 松永 清蔵（岐阜県議会水資源対策特別委員会委員長）
 浅野 勇（岐阜県市長会長）【 渡辺 建蔵（岐阜市土木部長）】
 川瀬 雅信（岐阜県環境局長）
 森井 季雄（岐阜県農政部長）【 福田 直樹（農地計画課長）】
 宮地 省一（岐阜県林政部長）【 安西 勉（自然環境保全課自然環境対策監）】
 小島 秀俊（岐阜県土木部長）【 松本 直也（河川課長）】

以上16名（敬称略、職業・役職は当時、 は代理出席）

要 旨

- ・水質について、自動水質監視装置及び水面パトロールにより、常時監視が実施されており、全般的に著しい変化は見られていません。今後も引き続き調査をして見守っていく必要があることを要望しました。（P3-5～13参照）
- ・平成9年にはアオコの発生は確認されていません。今後も引き続き調査をして見守っていく必要があることを要望しました。（P3-6～7参照）
- ・河床材料については、もともと粘土・シルト分が多いところであり、少し細粒分が進んでいると考えられます。今後も引き続き調査をして見守っていく必要があることを要望しました。（P3-19～20参照）
- ・河床の一部で20～30cmの堆積傾向がみられ、音響測深機により河口堰下流部の河床の状況が調査されています。今後も引き続き調査をして見守っていく必要があることを要望しました。（P3-21～22参照）
- ・ヨシ原は保全と復元対策により、順調に生育し復元がなされています。今後も自然環境や、鳥類を含めた動物の調査を継続することが必要であることを要望しました。（P3-27～31参照）
- ・マウンドしゅんせつ後の河床堆積状況について、今後も注意深く見守っていく必要があることを要望しました。（P3-36参照）
- ・地元住民も含めたパトロール班の現地調査、地下水位調査によれば、承水路や排水路による浸透水対策は機能しています。今後も引き続き観察が必要であることを要望しました。（P3-39～41参照）
- ・地下水の塩分濃度が一部高くなっているところについては、今後も注意深く継続監視されます。（P3-56～57参照）

- ・アユ、サツキマス等は順調に遡上しています。さらに遡上効果が上がるように、ゲート操作についての検討を行う必要があることを要望しました。(P3-44～45、P3-64～65、P3-67～68参照)
- ・アユの生育状況については、モニタリングの採捕調査では大きな変化が見られていません。今後も引き続き調査をして見守る必要があることを要望しました。(P3-66参照)

第7回 長良川河口堰調査検討会の開催記録

日 時：平成11年11月30日(火) 午前9：30～午後12：00

場 所：岐阜県シンクタンク 大会議室

出席者

議長団 館 正知(元岐阜大学学長、岐阜大学名誉教授)
 小瀬 洋喜(大垣女子短期大学学長、岐阜薬科大学名誉教授)
 河村 三郎(岐阜大学名誉教授)

委員 和田 吉弘(中部学院大学短期大学部副学長、岐阜大学名誉教授)
 林 春雄(岐阜市自治会連絡協議会長)【藤澤 明弘(日野自治会連合会長)】
 森 正夫(高須輪中水防事務組合水防団長)
 近藤 良男(高須輪中土地改良区理事長)
 桑原 千尋(岐阜長良川温泉旅館協同組合代表理事)
 杉山 秀夫(鷺匠代表)
 坂 志郎(岐阜県議会水資源対策特別委員会委員長)
 奥村 寛治(岐阜県健康福祉環境部環境局長)
 坂 秀臣(岐阜県農林商工部農林水産局長)
 小島 秀俊(岐阜県基盤整備部建設管理局長)

以上13名(敬称略、職業・役職は当時、 は代理出席)

要 旨

- ・水質について、自動水質監視装置及び水面パトロールにより、常時監視が実施されており、全般的に著しい変化は見られていません。今後も引き続き調査をして見守っていく必要があることを要望しました。(P3-5～13参照)
- ・アオコの発生は確認されていません。今後も引き続き調査をして見守っていく必要があることを要望しました。(P3-6～7参照)
- ・河床材料については、もともと粘土・シルト分が多いところであり、少し細粒分が進んでいると考えられます。今後も引き続き調査をして見守っていく必要があることを要望しました。(P3-19～20参照)
- ・河床の一部で20～30cmの堆積傾向がみられ、音響測深機により河口堰下流部の河床の状況が調査されています。今後も引き続き調査をして見守っていく必要があることを要望しました。(P3-21～22参照)
- ・長良導水取水口の魚類の迷入防止対策の効果が見られます。今後も一層の迷入防

- 止対策を検討する必要があることを要望しました。(P3-26参照)
- ・ヨシ原は保全と復元対策により、順調に生育し復元がなされています。今後も自然環境や、鳥類を含めた動物の調査を継続することが必要であることを要望しました。(P3-27～31参照)
 - ・平成11年9月の出水において、しゅんせつによる水位低下効果がありました。今後も引き続き水位低下効果の監視を続ける必要があることを要望しました。(P3-34～35参照)
 - ・マウンドしゅんせつ後の河床堆積状況について、今後も注意深く見守っていく必要があることを要望しました。(P3-36参照)
 - ・地元住民も含めたパトロール班の現地調査、地下水位調査によれば、承水路や排水路による浸透水対策は機能しています。(P3-39～41参照)
 - ・地下水の塩分濃度が一部高くなっているところについては、今後も注意深く継続監視されます。(P3-56～57参照)
 - ・ゲートには予備発電機が備えられており、定期的に点検が実施されています。また、年1回総合的な防災訓練が実施されています。(P3-58参照)
 - ・アユの遡上量は堰運用開始前と大きく変化しておらず、魚道は十分機能しています。今後も引き続き調査する必要があることを要望しました。(P3-64～65参照)
 - ・サツキマスの平成11年の採捕量、市場入荷量が減っていますが、長良川だけでなく木曽川、揖斐川も同様であり、河口堰による影響とは考えられません。今後も引き続き調査する必要があることを要望しました。(P3-67～68参照)
 - ・河口堰完成後の上流部におけるヤマトシジミへの影響は、汽水域の減少によるものです。(P3-71参照)

第8回 長良川河口堰調査検討会の開催記録

日 時：平成13年3月21日(木) 午前9：30～午後12：00

場 所：サンピア岐阜 乗鞍

出席者

議長団	館 正知(元岐阜大学学長、岐阜大学名誉教授)
	小瀬 洋喜(大垣女子短期大学学長、岐阜薬科大学名誉教授)
	河村 三郎(岐阜大学名誉教授)
委員	和田 吉弘(中部学院大学短期大学部副学長、岐阜大学名誉教授)
	林 春雄(岐阜市自治会連絡協議会長)【藤澤 明弘(日野自治会連合会長)】
	森 正夫(高須輪中水防事務組合水防団長)
	楠 紀章(岐阜県漁業協同組合連合会長)
	近藤 良男(高須輪中土地改良区理事長)
	伊藤 善男(岐阜長良川温泉旅館協同組合代表理事)
	杉山 秀夫(鵜匠代表)
	尾関 尚司(岐阜商工会議所副頭取)

浅野 勇（岐阜県市長会長）【 坂口 久（市長会事務局参事）】
田代 一弘（岐阜県健康福祉環境部環境局長）【 渡辺 昇（環境管理課課長補佐）】
坂 英臣（岐阜県農林商工部農林水産局長）【 安藤 敏行（水産課長）】
平田 佳史（岐阜県基盤整備部建設管理局长）【 山崎 和久（水資源課長）】

以上15名（敬称略、職業・役職は当時、 は代理出席）

要 旨

- ・水質を表す各種指標について、大きな変化はありません。（P3-5～12参照）
- ・アオコは、平成7年の夏、異常な高温小雨時に局部的に発生しましたが、その後は発生していません。（P3-6～7参照）
- ・ヘドロについて、堰運用開始後も大きな変化はないことを周知するように努めるよう要望しました。（P3-19～20参照）
- ・治水効果について、さらにPRに努めるよう要望しました。（P3-34～35参照）
- ・地下水の塩分濃度が一部高くなっているところについては、今後も注意深く継続監視されることを確認しました。（P3-56～57参照）

第9回 長良川河口堰調査検討会の開催記録

日 時：平成14年10月16日（木） 午前9：30～午後12：30

場 所：県民ふれあい会館 14階 展望レセプションルーム

出席者

議長団 館 正知（元岐阜大学学長、岐阜大学名誉教授）
小瀬 洋喜（大垣女子短期大学学長、岐阜薬科大学名誉教授）
河村 三郎（岐阜大学名誉教授）
委 員 和田 吉弘（中部学院大学短期大学部副学長、岐阜大学名誉教授）
林 春雄（岐阜市自治会連絡協議会長）【 藤澤 明弘（日野自治会連合会長）】
森 正夫（高須輪中水防事務組合水防団長）
船戸 行雄（岐阜県漁業協同組合連合会長）
近藤 良男（高須輪中土地改良区理事長）
杉山 秀夫（鶴匠代表）
尾関 尚司（岐阜商工会議所副頭取）
浅野 勇（岐阜県市長会長）【 坂口 久（市長会事務局参事）】
田代 一弘（岐阜県健康福祉環境部環境局長）【 渡辺 昇（環境管理課課長補佐）】
坂 英臣（岐阜県農林商工部農林水産局長）【 安藤 敏行（水産課長）】
平田 佳史（岐阜県基盤整備部建設管理局长）【 山崎 和久（水資源課長）】

以上14名（敬称略、職業・役職は当時、 は代理出席）

要 旨

- ・全般的な水質に問題はありません。河口堰上流において発生する藻類に特に変化はありません。総窒素については上昇傾向にあります。これらについて、今後も調査を継続していく必要があることを要望しました。（P3-5～12参照）

- ・水質自動監視装置により、水質は常時監視されています。今後も監視し水質の保全に努めるよう要望しました。(P3-13～14参照)
- ・支川の水質浄化の取り組みとして、排水対策、下水道整備等が推進されていますが、さらに浄化を行うため、境川及び桑原川に長良川支川浄化施設が設置されています。また、羽島市の下水道処理施設の供用が開始(H12.4.1)されました。(P3-15～18参照)
- ・呼び水式魚道、ロック式魚道、せせらぎ魚道は、それぞれが特徴を持った機能を発揮することにより、相乗的に遡上効果を上げています。(P3-24～25参照)
- ・平成14年7月の出水において、しゅんせつによる水位低下効果がありました。今後も引き続き水位低下効果の監視を続ける必要があることを要望しました。(P3-34～35参照)
- ・人工河川の運用に向けて、関係漁協が主体となって調整を進める必要があることを要望しました。(P3-70参照)

第10回 長良川河口堰調査検討会の開催記録

日 時：平成15年10月31日(金) 午前9：30～午後12：00

場 所：県民ふれあい会館 14階 展望レセプションルーム

出席者

議長団 小瀬 洋喜(大垣女子短期大学名誉教授、岐阜薬科大学名誉教授)
河村 三郎(岐阜大学名誉教授)

委員 和田 吉弘(中部学院大学短期大学部副学長、岐阜大学名誉教授)
林 春雄(岐阜市自治会連絡協議会長)【藤澤 明弘(日野自治会連合会長)】
森 正夫(高須輪中水防事務組合水防団長)
太田 隆一(岐阜県漁業協同組合連合会長)
平野 義明(高須輪中土地改良区理事長)【小林 仁美(養蚕事務所長)】
山下 純司(鵜匠代表)
尾関 尚司(岐阜商工会議所副頭取)
塚本 保夫(岐阜県市長会長)【大橋 和郎(市長会事務局次長)】
成原 嘉彦(岐阜県健康福祉環境部環境局長)【児玉 文夫(水環境室長)】
坂 英臣(岐阜県農林商工部農林水産局長)【白田 博(水産振興室長)】
鈴木 治(岐阜県基盤整備部建設管理局长)

以上13名(敬称略、職業・役職は当時、 は代理出席)

要 旨

- ・総窒素について、近年高い傾向が見られましたが、平成13、14年度は低くなっています。今後も調査を行うよう要望しました。(P3-11～12参照)
- ・水質自動監視装置により、水質は常時監視されています。今後も監視し水質の保全に努めるよう要望しました。(P3-13～14参照)
- ・長良川支川浄化施設は効果を発揮しています。(P3-17参照)

- ・羽島市の下水道処理場が完成したため、今後は幹線の整備が重点的に進められる計画となっています。(P3-18参照)
- ・河床のモニタリングでは、局所的には細かい土砂の堆積がみられますが、大きな河床上昇は見られていません。今後も調査を行い、推移を見守る必要があることを要望しました。(P3-19～22参照)
- ・平成14年7月の出水において、しゅんせつによる水位低下効果がありました。今後、極端な河床の変動箇所については、現地を見ながら対策がなされます。(P3-34～36参照)
- ・内水対策として、各排水機場の整備が行なわれています。(P3-37参照)
- ・アユの遡上について、平成14年に少なかったのは、自然変動の範囲内であると考えられ、平成15年は平年並みの遡上量です。(P3-64～65参照)

第11回 長良川河口堰調査検討会の開催記録

日 時：平成16年12月17日(金) 午後1：30～午後4：30

場 所：県民ふれあい会館 14階 展望レセプションルーム

出席者

議長団 小瀬 洋喜(大垣女子短期大学名誉教授、岐阜薬科大学名誉教授)
河村 三郎(岐阜大学名誉教授)

委員 和田 吉弘(中部学院大学短期大学部副学長、岐阜大学名誉教授)
林 春雄(岐阜市自治会連絡協議会長)【藤澤 明弘(日野自治会連合会長)】
森 正夫(高須輪中水防事務組合水防団長)
太田 隆一(岐阜県漁業協同組合連合会長)
平野 義明(高須輪中土地改良区理事長)【小林 仁美(参事兼事務局長)】
山下 純司(鵜匠代表)

武田 康郎(日本労働組合総連合会岐阜県連合会長)【別宮 理恵(事務局)】
猿渡 要司(岐阜県健康福祉環境部環境局長)【近藤 邦弘(水環境室長)】
長屋 栄(岐阜県農林商工部農林水産局長)【臼田 博(水産振興室長)】
奥田 邦夫(岐阜県基盤整備部建設管理局长)【岩田 礼一(水資源課長)】

以上12名(敬称略、職業・役職は当時、は代理出席)

要 旨

- ・BOD及びDOは概ね環境基準を満たしています。また、平成15年度と14年度の総窒素及び総りんには大きな変化はなく、近年、上昇傾向はみられません。今後も調査を行い、推移を見守る必要があることを要望しました。(P3-8～12参照)
- ・水質自動監視装置により、水質は常時監視されており、今後も継続して監視がなされます。(P3-13～14参照)
- ・下水道の整備、処理区域の拡大が促進されるとともに、融資制度や融資に係る利子補給制度により接続促進が図られています。(P3-18参照)

- ・堰運用開始後、細粒化した底質は、出水により一旦は解消されました。今後も調査を行い、推移を見守る必要があることを要望しました。(P3-19～20参照)
- ・地域住民の方々と連携しヨシ原の再生が行われ、ヨシ群落の復元が図られています。(P3-30～31参照)
- ・平成16年10月の出水において、しゅんせつによる水位低下効果がありました。(P3-34～35参照)
- ・堰運用開始後もアユ遡上数の変化は自然の変動幅の中に入っており、アユは十分に遡上しています。人工河川の活用について要望しました。(P3-64～65、P3-70参照)

第12回 長良川河口堰調査検討会の開催記録

日 時：平成18年2月6日(月) 午後1：30～午後4：30

場 所：県民ふれあい会館 14階 展望レセプションルーム

出席者

議長団 小瀬 洋喜(大垣女子短期大学名誉教授、岐阜薬科大学名誉教授)
河村 三郎(岐阜大学名誉教授)

委員 永田 賢雄(岐阜市自治会連絡協議会長)
森 正夫(高須輪中水防事務組合水防団長)
戸部 一秋(岐阜県漁業協同組合連合会長)
平野 義明(高須輪中土地改良区理事長)【小林 仁美(舞鶴事務所長)】
山下 純司(鵜匠代表)
山下 運平(岐阜県議会議長)
坂 志郎(岐阜県議会環境保全・防災対策特別委員会委員長)
猿渡 要司(岐阜県健康福祉環境部環境局長)【近藤 邦弘(水環境室長)】
横井 篤(岐阜県農政部長)【臼田 博(水産課長)】
奥田 邦夫(岐阜県基盤整備部建設管理局长)【岩田 礼一(水資源課長)】

以上12名(敬称略、職業・役職は当時、 は代理出席)

要 旨

- ・BOD及びDOは概ね環境基準を満たしています。今後も調査を行い、推移を見守る必要があることを要望しました。(P3-8～12参照)
- ・河口堰上流の河床は細粒分(粘土、シルト)のみで構成され、砂が全然ないとの指摘がありますが、底質調査の結果によれば、細粒分のみで構成されているわけではありません。今後も調査を行い、推移を見守る必要があることを要望しました。(P3-19～20参照)
- ・平成16年10月の出水において、しゅんせつによる水位低下効果がありました。(P3-34～35参照)
- ・人工河川において、アユ人工ふ化放流事業が実施されるなど自然環境保護にも力が注がれており、長良川水系の水産振興のため、今後もアユ人工ふ化放流事業の

実施について要望しました。(P3-70参照)

第13回 長良川河口堰調査検討会の開催記録

日 時：平成19年2月5日(月) 午後1:30～午後4:30

場 所：県民ふれあい会館 14階 展望レセプションルーム

出席者

議長団 小瀬 洋喜(大垣女子短期大学名誉教授、岐阜薬科大学名誉教授)

河村 三郎(岐阜大学名誉教授)

委員 野平 照雄(自然学総合研究所主任研究員)

永田 賢雄(岐阜市自治会連絡協議会長)【藤澤 明弘(日野自治会連合会長)】

森 正夫(高須輪中水防事務組合水防団長)

平野 義明(高須輪中土地改良区理事長)【小林 仁美(参事兼事務局長)】

伊藤 善男(岐阜長良川温泉旅館協同組合理事長)【橋本 勝昭(部長(理事長付))】

山下 純司(鵜匠代表)

尾関 尚司(岐阜商工会議所副頭取)【遠藤 太郎(濃飛倉庫運輸(株)総務部副部長)】

横井 篤(岐阜県環境生活部長)【高崎 善文(地球環境課環境事故対策監)】

山内 清久(岐阜県農政部長)【臼田 博(水産課長)】

棚瀬 直美(岐阜県県土整備部長)【清水 晃(河川課長)】

以上12名(敬称略、職業・役職は当時、は代理出席)

要 旨

- ・DOが低下した場合は、フラッシュ操作が行われ、DOが改善されています。今後も調査を行い、推移を見守る必要があることを要望しました。(P3-14参照)
- ・境川流域の下水道普及率、汚水処理人口普及率は着実に向上しています。今後も下水道接続率の向上に対して努力願うよう要望しました。(P3-18参照)
- ・河口堰は洪水時にゲートを全開にすることにより、細粒分が減少し、底質の改善が見られるため、経年的に底質悪化が継続することはありません。今後も調査を行い、推移を見守る必要があることを要望しました。(P3-19～20参照)
- ・平成6年度～平成16年度の仔アユの降下調査の結果、年変動はあるものの、仔アユの降下に対する影響は認められていません。(P3-63参照)
- ・河口堰地点におけるアユの遡上状況は、平成18年は昨年を上回る遡上を確認されており、昨年と比べて回復傾向にあります。(P3-64～65参照)
- ・平成17年度から、長良川漁業対策協議会(漁対協)により、アユ人工ふ化放流事業が実施されており、漁対協の取り決めでは、来年度以降も取り組んでいく方針となっています。(P3-70参照)